

教科名	英語	科目名	自選英語総合A	履修学年	高校	3年	選択者	1～9	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	自作プリント							
担当者	宮岡 良二									
学習目標	生徒のレベルに応じて、大学の過去問題や模試の問題を解くことで、大学入試に対応できる思考力を養成する。また、毎回の小テストを行うことにより、学習内容の定着をはかる。									
評価方法										
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	数多くの入試問題を解くことにより、語彙・文法・背景知識の獲得を目指す。		実際に入試で出題された長文問題を解くだけでなく、要約やリテリング活動を通して筆者の意図を読み解き、それを自分の言葉で表現できることを目指す。			様々な英文・問題を解くことで得た知識を使い、自分の意見を自由英作文を通表現できるようにすることを目指す。				
各観点の授業内 評価方法等	小テスト(30%) 授業内の活動(10%)		要約の取り組み・提出(20%) 授業内の活動(10%)			自由英作文の提出(20%) 授業内の活動(10%)				
学期末の 各観点比率(%)	40%		30%			30%				
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2	
1	4	☆3回目以降の授業からは、生徒たちの希望に応じた入試問題を扱う。  プリント①(長文問題: 東京理科大・文法問題: 河合塾全統記述模試)					10	1	1学期中間考査まで	
	5	プリント②(長文問題: 関西学院大・文法問題: 河合塾全統記述) 小テスト① プリント③(長文問題・文法問題) 小テスト② プリント④(長文問題・文法問題) 小テスト③								
	6	プリント⑤(長文問題・文法問題) 小テスト④ プリント⑥(長文問題・文法問題) 小テスト⑤ プリント⑦(長文問題・文法問題) 小テスト⑥								
	7	プリント⑧(長文問題・文法問題) 小テスト⑦ プリント⑨(長文問題・文法問題) 小テスト⑧ プリント⑩(長文問題・文法問題) 小テスト⑨								
	8									
	2	9	プリント⑪(長文問題・文法問題) 小テスト⑩ プリント⑫(長文問題・文法問題) 小テスト⑪					8	2	2学期中間考査
10		プリント⑬(長文問題・文法問題) 小テスト⑫ プリント⑭(長文問題・文法問題) 小テスト⑬								
11		※全体で行う授業は10月の中間考査前までとし、それ以降は希望者のみ講習会とする。						2	2学期期末考査	
12										
3	1									
	2									
	3									

教科名	英語	科目名	英語コミュニケーションⅢ	履修学年	高校	3年	1,2	組	
単位数	4	使用教科書 補助教材等	大学入試レベル別英語長文問題集THE LEVELS 2, 3, 4(旺文社)						
担当者	幸治		共通テストドリル英語リーディング10minutes(Z-KAI) 大学入試共通テスト対策Reach40(Reading), Reach30(Listening)(美誠社)						
学習目標	1学期は『THE LEVELS』シリーズを解き進めることで解答力と語彙力の養成を図る。またフォローとしてプリント課題では英文和訳、和文英訳、テーマ英作文などを解き、難関大学入試へ向けた基礎固めをする。2学期は基本的に大学入試過去問演習を行い、合格のための思考力・判断力を養っていく。また1,2学期を通じて定期的に『共通テストドリル』『共通テスト対策』を扱い、読解スピードと正確性を向上することを図る。更にGELPの活用を促し、リスニングやテーマ英作文の経験を補っていく。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞く・読む・書く・伝える技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理性に注意して話したり、書いて伝えている。			外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	定期テスト 授業内の言語活動 フォロー課題への取り組み		定期テスト 授業内の言語活動 フォロー課題への取り組み			定期テスト 授業内の言語活動 フォロー課題への取り組み			
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	THE LEVELS 2 共通テストドリル					20	1 学期 中間 考査	
	5	THE LEVELS 3 共通テストドリル							
	6	THE LEVELS 4 共通テストドリル					20	1 学期 期末 考査	
	7								
8									
2	9	大学入試問題演習 共通テスト対策Reach					20	2 学期 中間 考査	
	10								
	11	大学入試問題演習 共通テスト対策Reach					20		
	12								
3	1								
	2								
	3								

教科名	英語	科目名	英語コミュニケーションⅢ	履修学年	高校	3年	3～9組		
単位数	4	使用教科書 補助教材等	システム英単語, 高校中級用 入試長文をよむためのパラグラフ・リーディング						
担当者	幸治 柴山 吉澤		Praxis Level 2(Z-KAI), 大学入試共通テスト 対策 Reach40(Reading) 英語学習アプリ"GELP", 英語リーディング 10minutes						
学習目標	通年でシステム英単語、GELP課題に取り組み、基礎的な力の育成を目指す。2年次から継続のReading教材に加え、1学期ではパラグラフリーディングにより、読解の基礎を学び、2学期にはPraxisにより、大学入試に対応できる実践的な読解力を養う。共通テスト形式の問題にも、1学期、2学期に演習を積む。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞く・読む・書く・伝える技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理性に注意して話したり、書いて伝えている。		①知識・技能の獲得や課題解決に向けた粘り強い取組、②自らの学習を振り返り調整しようとする「自己調整」の姿勢				
各観点の授業内 評価方法等	定期テスト・朝テスト		定期テスト		GELP課題 GELP音読得点				
学期末の 各観点比率(%)	30%		30%		40%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	ELEMENT II Lesson6 高校中級用 入試長文をよむためのパラグラフ・リーディング第1日～第13日 英語リーディング 10minutes 1-1～8-4					22	1 学期 中間 考査	
	5	GELP課題 (音読課題含む)		システム英単語 テスト					
	6	ELEMENT II Lesson7 高校中級用 入試長文をよむためのパラグラフ・リーディング第14日～第30日 英語リーディング 10minutes 9-1～17-4					19	1 学期 期末 考査	
	7	GELP課題 (音読課題含む)							
8									
2	9	ELEMENT II Lesson8 Praxis(Stage1 No.1～7) 大学入試共通テスト 対策 Reach40(Reading) 第1回、第2回					20	2 学期 中間 考査	
	10	GELP課題 (音読課題含む)							
	11	Praxis(Stage2 No.1～7) 大学入試共通テスト 対策 Reach40(Reading) 第3回、第4回					20		
12									
3	1								
	2								
	3								

教科名	英語	科目名	自選英語総合B	履修学年	高校	3年	1～9組		
単位数	2	使用教科書 補助教材等	入試問題(プリント)						
担当者	吉澤 稔								
学習目標	プリントで大学の過去問題を解き、大学入試問題に必要な知識・技能等を確認する。それを基に、必要とされる力をつけるための取り組みを行う。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞く・読む・書く・伝える技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理性に注意して話したり、書いて伝えている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	定期テスト 授業内の言語活動		定期テスト 授業内の言語活動、グループワーク		授業内の言語活動、グループワーク 授業態度				
学期末の 各観点比率(%)	60%		30%		10%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	プリント① プリント② プリント③					6	1 学期 中間 考査	
	5	中間試験 プリント④							
	6	プリント⑤ プリント⑥ プリント⑦					10	1 学期 期末 考査	
	7	プリント⑧ 期末試験							
	8								
2	9	プリント⑨ プリント⑩ プリント⑪					6	2 学期 中間 考査	
	10	中間試験 プリント⑩ プリント⑪							
	11	プリント⑫ プリント⑬ プリント⑭					10	2 学期 期末 考査	
	12								
3	1								
	2								
	3								

教科名	外国語	科目名	論理・表現Ⅲ	履修学年	中学・高校	3年	1-9	組				
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	世界を読み解く 英語リーディング(アルク)									
担当者	小松/濱口/宮岡/金岡		VISION QUEST論理表現Ⅲ(啓林館)									
学習目標	英語の技能・知識のみならず、世界で起きている諸問題(環境問題・難民問題・戦争・飢餓など)についての知識を英文を通して会得し、問題解決に向けた自分の意見を協働議論を通して構築する。最終的には、医療支援、教育支援、自立支援、経済支援、平和活動のために、何が出来るかを考え、具体的な形とする。同時に、入試突破に向けた読解力、英作文力を磨く。											
評価方法												
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢							
評価規準	未知の素材に対する読解、聴解力が身についている。世界を取り巻く様々な社会問題についての基礎知識が身についている。		環境問題、地雷、貧困、難民、飢餓などの諸問題について、基礎知識を基に自らの意見を構築し、英語で議論したり伝えあったりできる。		世界を読み解こうとする意欲 意見を持ち、仲間との議論に積極的に取り組む							
各観点の授業内 評価方法等	定期考査		定期考査 パフォーマンステスト		パフォーマンステスト							
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%							
授業計画												
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2			
1	4	UNIT1 エコ商品 UNIT2 エコカー UNIT3 企業の環境意識		UNIT4 エコ改築 UNIT5 絶滅危惧種の保護 ☆毎時間、背景知識の確認、英文読解、英語での議論を行う		10	中間 考査	パ フ ォ ー マ ン ス テ ス ト				
	5	UNIT6 エコツーリズム ディベート「エコツアーに賛成?反対?」 UNIT7 環境問題と南北問題		環境サミット”Eco-friendly Japan”(パフォーマンステスト・発表)								
	6	UNIT8 地雷のある世界		UNIT10 飢餓のある世界 UNIT11 格差のある社会		12	期 末 考 査					
	7											
	8											
2	9	UNIT12 医療支援 UNIT13 経済支援 UNIT14 教育支援		UNIT15 自立支援 UNIT16 平和への祈り 発表活動		9	学 年 末 考 査					
	10	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>考査終了後は、教科書『Vision Quest論理表現Ⅲ』より、共通テスト形式の演習や、入試頻出テーマ、あるいは出題が予想されるテーマを用いた議論、英作文演習を行う。 随時、クラスに応じた入試問題演習も行う。</p> </div>										
	11											12
	12											
3	1											
	2											
	3											